

平成 2 1 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 防火耐火物データベース化事業（緊急雇用創出推進事業）
-------------------	---

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	2	消防・救急救助体制の充実
小分類	1	火災予防活動の推進
主要な施策	3	防火査察の徹底
事務事業番号	001	事務事業コード 23213001 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	防火対象物データベース化事業（緊急雇用創出事業）
------	------	------------	--------------------------

部 名	消防本部	グループ名	総務 G
-----	------	-------	------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください）</p> 市内防火対象物
手 段 （ 事 業 の 内 容 ・ 活 動 ）	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください）</p> 現在、集積管理している防火対象物のデータは、管理台帳に手書きで記載しており、今後、法令等の改正により防火対象物に対する規制や違反是正の対策強化が進められており、膨大な管理作業を要することから、より効率的な予防業務の円滑化を図る。 既存の管理台帳のデータをパソコンに入力し防火対象物に関する情報などを一元管理するためデータベース化を図る。 臨時職員1名 既存データ数 2,800件
目 指 す 姿 （ 成 果 ）	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください）</p> 防火対象物のデータベース化により、防火対象物に係る防火管理体制や法令に基づく消防用設備の点検報告の状況や消防の立入検査の実施結果などを一元管理できる。
根 拠 法 令 等	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください）</p>

指標の推移

区 分		単 位	区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
				実 績	目 標	目 標	目 標	目 標
成果 指標	防火対象物数	件	目標値	2,800				
			実績値	2,800				
			目標値					
			実績値					

## 事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称 緊急雇用創出推進事業補助金	千円	587					0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円						0
合 計				587	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	0	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	548	0			
			合 計		548	0			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後もしが事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当では ない理由は何で すか？
法令に基づく防火対象物の防火管理状況の一元 管理を行うため。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあ がっている 成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由は何 ですか？
防火対象物の立入検査の計画が効率的にでき た。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる 少し向上させるこ とができる 向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？
今後、法令改正等に伴う防火対象物に対する規 制の備えることができる。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由は何ですか？
データの更新については業務内で行えることからコストの発生はしない。			

## 担当グループによる評価

終了	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	単年度事業で終了したため、H21をもって終了。
----	----------------------------------	-------------------------

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終了	備考
----	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）